

陳 情 文 書 表

平 2 7 陳 情 第 1 4 号	平成 2 7 年 1 1 月 1 8 日 受 理
件 名	年金削減を取りやめ、マクロ経済スライドの廃止、最低保障年金制度を求める陳情
陳 情 者	秦野市上今川町 7 - 2 1 全日本年金者組合神奈川県本部秦野支部 支部長 若井 吉太郎
陳 情 の 要 旨	
<p>厚生労働省は、年金財政の破たんを理由に、今年度よりマクロ経済スライドを導入し、今後 30 年間に及ぶ年金削減に踏み切りました。現在、国民年金だけで生活する約 1, 300 万人の平均年金月額は 4 万 9, 000 円、女性においては 3 万円台となり、この低年金で暮らす高齢者も、毎年約 1 パーセント引き下げられると言われていています。高齢化の進行とともに一人暮らしや老々世帯が増え、餓死や孤独死の痛ましい報道が相次ぐほど、高齢者の貧困は深刻です。</p> <p>さらに、年金削減は高齢者だけの問題ではありません。現役労働者の 30 年後の年金は、下げ続けられて最低の年金となります。現在、非正規労働者が 40 パーセントを超え、年収 200 万円以下のワーキングプアが増加しており、今後 30 年間に及ぶ年金引き下げは、将来に希望のないモラルハザード社会を招くものとなります。</p> <p>また、高齢者の年金への依存度が高い地域社会経済や自治体にとっても大きな打撃となります。年金削減は、超高齢社会における高齢化対策に大きな影響をもたらすものです。</p> <p>高齢者の生活を支える年金の削減を取りやめマクロ経済スライドの廃止、すべての高齢者に給付される最低保障年金制度を実現することについて、地方自治法第 99 条に基づき、国に対して意見書を提出していただくよう陳情いたします。</p> <p>陳情事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 年金削減を取りやめ、マクロ経済スライドを廃止すること。 2 高齢者すべてに給付される最低保障年金制度を実現すること。 	